

『東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃炉に向けた中長期的な取組について御意見を聴く会』に  
事前に寄せられた御意見・御質問

番号	御意見・御質問
1	<p>人間がコントロールできないものを維持管理しようとするのがそもそもの間違いであり、福島第1原発の廃炉決定、大いに結構。まさか福島第2の再稼働など、ありえないことを肝に銘ずるべき。 そもそも、説明を聞いて、そのことに対し分からなかったり、疑問を持つことで、追加説明を希望するのではないですか？ 事前に質問しなさいという姿勢が理解できない。 これだけの事故を起こしたわけで、我々に分かり易いように説明する、責任と義務がある。質疑応答の時間が足りなければ、2回3回と説明会を開催すれば良いのでは？</p>
2	<p>1:核燃料の状況 壊れている1・2・3・4号機の原子炉内に、建屋内の使用済み核燃料プールに、敷地内の核燃料プールに、壊れていないという4・5号機、第2原発に、それぞれ、どれだけの量のものがあるのかを、常時、公表して頂きたい。 2:廃炉作業の計画と実施状況 計画と実施状況を、定期的に・・・たとえば毎月・・・公表していただきたい。 異なる立場の専門家が、意見を述べるのが可能なレベルのものを。 3:緊急時の避難対策について 万一、事故が発生した場合、周辺住民が、安全に避難し、避難先で生活を再建するための準備を整えておくことは、事故を起こしていない原発以上に必要である。 4:責任と権限のある政府高官の現地駐在 大飯原発以上の態勢を整えていただきたい。</p>
3	<p>廃炉に向けてとのことですが、 ・原子力委員会が廃炉作業に関わるとなると、規制庁との二重規制にならないのでしょうか？それとも、規制庁と役割を分担するのでしょうか。現場状況からすれば、規制当局は、今度新設される規制庁が主として行った方が望ましいと考えますが。 ・今後の廃炉作業で、一番最初に注意を要する作業が使用済燃料貯蔵プールに関わる作業かと思います。使用済燃料貯蔵プール作業での、想定内事故について教えてください。 以上 宜しく願います。</p>
4	<p>双葉郡楢葉町からいわき市に避難しています。各地で復旧復興が進む中でも私たちの故郷は未だに自宅に帰れない住めない状況が続いています。私の母親は第一原発からわずか3.4キロの大熊町に住んでいましたが、もう母が生きている間に元の場所に戻って生活することは絶望的になり、12年前に亡くなった父親のお墓参りもかなわないこの悲しくつらい現実と日々向き合いながら何とか暮らしています。多くの避難者が感じています。人間は生きる目標と希望を失ってしまった時、本当に無気力で悲観的になってしまいます。 日本政府が、国民の生きる権利を守ることは当然です。子供だましな手当ではなくて、思い切った被害者救済の決断を実行に移して下さい。まずは今後の生活再建に向けて避難住民が要求する損害賠償を一日も早く手厚く支給し、住民の生きる権利と居住地を選択する権利を保障して下さい。国も東電もずるいです。いっそこ福島に現地に永住して私達と同じ状況で仕事をして下さい。</p>

『東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃炉に向けた中長期的な取組について御意見を聴く会』に  
事前に寄せられた御意見・御質問

番号	御意見・御質問
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の事故の教訓と反省点についてー最大・最悪の公害ではないでしょうか。</li> <li>・原子力委員会の今後のあり方についてはどう考えていますか。</li> <li>・残る6基の廃炉についてはどう考えていますか。</li> </ul>
6	<p>福島原発が事故を起こし、私たちは大変な被害を受けています。 この立場から、日本中の原発は廃炉にすることを求めます。 まだ、福島原発の事故原因も確定していない現在、再稼動などあってはならないことです。</p>
7	<p>原子力委員会は原発導入開始時期から国民・住民の立場で原発の現状を本当に把握できていたのか、質してみたい。国民の目を真実探求からそらすための役割を果たしてきたとすれば、名ばかりの存在であったと言わざるを得ない。それは国民に対する背信行為だ。こんなことは繰り返させてはならない。</p>
8	<p>六月十八日付新聞報道にて知るが、1ヶ月前の公表なら全面広告なりすべきである。一九七三年の「公聴会」以来原発の安全性に度々質問を呈してきたが全て無視されてきた。廃炉は当地にとって原発以上の課題。是非にも陳述したい。よろしく。</p>
9	<p>①原子力委員会が提案した「原子力に関する日本国政府の対処方針」を今まで、2011年3月11日以前国際原子力機関(IAEA)に送付されましたが、全く国際基準に合わず却下されたのは何故か? ②電気事業連合会が「日本政府の安全審査」を作ってきて「国の安全審査」をそのままIAEAへ申告したのは何故か? ③安全委員会が2011年3月11日午後4時から「第16回原子力安全委員会臨時会議」において、議題(1)平成23年3月11日(金)午後発生地震について(2)その他、配付資料(1)なし、議事録なし、さらに終了が午後4時5分に閉会(5分間) その直後の3月14日、17日に行われた安全委員会の議事録なし(同じ)安全委員会は、また「国の原子力安全基準」がIAEAの基準に沿って作らないのは何故か?</p>
10	<p>一、先の福島第一原発の事故に関して、責任は感じないのですか? 一、責任があるはずで。即刻辞任すべきです。 一、さらにまた、この期に及んで原発推進勢力に肩入れするような行動をとる委員会など、存在価値はありません。</p>

『東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃炉に向けた中長期的な取組について御意見を聴く会』に  
事前に寄せられた御意見・御質問

番号	御意見・御質問
11	<p>・今だに終息していない4号機の建屋の問題が一番最初にやる事ではないでしょうか。それが出来ない限り前に進む事は出来ません。もう1年3ヶ月をすぎようとしているのに東京電力は何をしているのですか。早く線量の出るのを止めて下さい。時間がたてばこの原発事故も忘れられてしまう。一日でも早い解決をお願いしたい。それが出来て始めて次のステップの復興を考える事ではないでしょうか。私達は東京電力に毎日の生活をふりまわされて今までの生活をとりもどす事が出来ません。東京電力、国はもう「うそ」をつかなくて正確なデータの資料を私達に提示して下さい。もう「うそ」は聞きあきました。だから復興も後手後手にまわっているのではないですか。私はいろんな物を見聞きして東京電力の言い訳だけが出ていてみぐるしく思う。</p> <p>・今新聞テレビで電気料の値上げ、社員の給料のアップ、何を考えてこういう問題が出てくるのですか。上記のものをしたいのでしたら自分達(会社)の資産を売却して支払ったらよいのでは私達には関係のない事です。事故をおこしたのは東京電力ですよ。その事を忘れないで下さい。二度と値上げ問題などしないで下さい。原発処理が終了するまでは。</p> <p>・この事故は東京電力の責任ですよ。それだけの資金を準備しておかなかった東京電力の責任です。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃炉に向けた具体的なロードマップを知りたい</li> <li>・廃炉に関わる費用の試算を知りたい</li> <li>・廃炉により出る高濃度放射線廃棄物の処分方法を知りたい</li> <li>・第一原子力発電所内の5号機、6号機の現状と今後の見通し</li> </ul>
13	<p>(1)原発は、まだ人類とっても未確定な技術であるので、作ってはならないものである。</p> <p>(2)原発による使用済み核燃料の廃棄場所さえ決まらず、その取り扱いさえ分からない状態で稼働させる事はあってはならないものです。廃炉しかあり得ない。</p> <p>(3)原発の事故は、人類が責任を持てる範囲を超えている事象になる。そのような物を人類が手にすることは危険きわまることです。廃炉にすべきです。</p> <p>(4)福島原発の事故は、指摘されてきたのにその処置もないままに事故に繋がってしまった事の責任の所在と反省のないままの再稼働はあり得ないことである。</p> <p>(5)福島原発の事故の究明が出来ていないのに再稼働はあり得ない。わからないのならなおのこと廃炉しかない。</p> <p>(6)廃炉と言っても、何十年単位の時間が必要であり、それでも生活基盤は失われたままです。このような状態を作り出してしまふ原発は要りません。</p>

『東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃炉に向けた中長期的な取組について御意見を聴く会』に  
事前に寄せられた御意見・御質問

番号	御意見・御質問
14	1. 私の住居の距離、状況 2. 避難できなかった状況 3. なぜ今回の原発事故が起きてしまったのか 4. 防ぐ事はできなかったのか 5. 事故時の東電、国の対応はどうであったのか 6. 日本列島の特徴から見てなぜ54基も設置されたのか 7. 原発事故は何回も起きるのではないのか 8. 命と経済、政治どちらが大事なのか 9. 福島第2の廃炉はどうか
15	原子力委員の中に専門的知識のある方いないと聞きますが、本当ですか？ 原発を廃炉にするに当たり、ただ40年間かけて廃炉にしていくのか？ それとも、ほかの用途で利用できるようなことも考えているのか？ 廃炉になった場合、その地域の安全性は、どうやって確保できるのか？
16	この原発事故で政府、原発関連組織、東電に対し不信感しかなく、理不尽な賠償に憤慨している。 そのうえで廃炉、中間所蔵施設について次の事を求める。 (1)住民が確認出来る安全、安心 廃炉中間処理施設を取り囲むように処理に関連する政府機関、研究機関の施設を建設しその中に出先機関としてではなく本部を設置し責任者が常駐する。さらにその近くに安全を唱える研究者、役人等の住居をつくり単身赴任ではなく家族を伴って居住する。そうすれば何百回アナウンスされるより安全、安心が一目瞭然だ。 (2)事故を組定し隣接市町を含めた避難の確保と賠償を明確にする 汚染度ではなく同心円上で避難区域を線引きしたため実態に即さない偏った賠償になっている。一度事故がおきれば立地地区住民は手厚いサポートがあるが隣接地区住民は被害があっても置き去りにされる。  中間貯蔵施設について こんな目にあわされている福島県がさらに中間貯蔵施設を受け入れなければならないのか、どこまで踏みつけにされなければならないのかとの思いだ。しかしこれを設置しなければ復興は出来ない。岩手、宮城のがれきでさえ受け入れを拒まれこの原発で作った電力を消費していた神奈川県ですら拒否している現実。この状況を踏まえれば汚染されてしまった土地に設置するしかないとは私は思っている。まずは最終処分地を福島県外に決める事。受け入れるか否か全福島県民の意向を聞く事。事故がおきれば立地地区だけの問題ではなく隣接地区は甚大な迷惑、損害だけを受けるのだから国と立地地区だけで決める事ではない。

『東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃炉に向けた中長期的な取組について御意見を聴く会』に  
事前に寄せられた御意見・御質問

番号	御意見・御質問
17	廃炉に向けて中長期の取組みと言っているが具体的にはどのくらいの期間を考えているのかを教えてください。
18	<p>福島第1原発、第2原発の廃炉は当然のことだと思います。昨年の原発事故は、原子力事故の恐ろしさを見せつけました。通常のプラント事故と違い、「時間的」「空間的」「地域的」に被害を及ぼす、異質の危険性があります。</p> <p>今後将来にわたり放射能の不安は払拭できず、特に子どもの健康が不安です。また双葉郡はいつ戻れるか、本当に戻ることができるのかそれすらも分かりません。被害は、広く南は神奈川、静岡まで及んでいます。</p> <p>使用済み核燃料の処理を考えれば将来にまで被害を及ぼす可能性があります。福島原発の廃炉はもちろん、原発のない、原発に頼らない、自然エネルギーを中心に考えていかなければならない。</p> <p>「原発ゼロ」の社会を実現しなければと考えます。</p>
19	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原発事故により障がい者は支援を受けられなくなった現状</li> <li>2. 避難によって3名の障がい者が無くなった事について</li> <li>3. 双葉郡内での再開に向けた原発問題について</li> </ol>
20	<p>○ 国は1年後、2年後、5年後、10年後、20年後の空間線量率予測マップを公表しているが自らに都合の良いファクターを多くインプットして作成しているのではないかと。セシウム134、137の存在比が50%-50%と仮定すれば、減衰があまりにも早すぎると思う。住民に誤った期待を持たせるものではないか。</p> <p>○ <math>3.8 \mu\text{Sv/h}</math>が<math>20\text{mSv/年}</math>になると文科省は公表しているが、今度の事故ではセシウム等が屋根瓦に沈着していて、室内の線量率が異常に高くなっている。<math>2.3 \mu\text{Sv/h}</math>=<math>20\text{mSv/年}</math>、<math>1\text{mSv/年}</math>=<math>1.1 \mu\text{Sv/h}</math>とし、ただし住民が帰還し居住する条件として住宅内<math>1\text{mSv/年}</math>以下とすべきある。</p> <p>○ 除染廃棄物(放射性廃棄物)は無機化、減容処理が基本であるが、焼却炉の構造、フィルター等は原発と同等の規準とすべきではないか。</p> <p>○ 除染廃棄物の汚染密度(ベクレル/kg)を厳密に選別すれば10万を超えるものは、ごく少量であり、中間貯蔵施設はかなり小規模なものになるのではないかと。</p>
21	<p>私たち福島県民は事故後、いろいろな講師から、放射能について学習してきましたが今だに、安心して生活をしているわけでは、ありません。</p> <p>あれほどの事故に対して、国の対応の遅さ、福島のいかりを国は感じていないし、心のケアが出来ず多くの人が、心をやんでいます。</p> <p>学校や公共施設に、誰でも相談できる、カウンセリング室を設置してほしいと思います。</p>

**『東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃炉に向けた中長期的な取組について御意見を聴く会』に  
事前に寄せられた御意見・御質問**

番号	御意見・御質問
22	<p>まず第一は福島原発の原子炉10基を全て廃炉にすることを決定すること。            第二、国はこれまで国民に対して「原発は安全だ」と安全神話を信じこませ、国策として原発をこの世界でも有数の地震国に作り、推進し、事故の場合の対策を全く取ってこなかった故に国の責任であることを認め、国民に謝罪し、国の責任で東電と共に賠償すること。            第三、福島では今尚約16万人もの人が避難生活を続け一生故郷に帰れない人も数知れず、この間の原発関連死の方が750人以上、子供達がガンの恐怖におびえ、将来の結婚、妊娠について不安を持っているこの事実を深くとらえ 原発を日本からなくすこと。</p>
23	<p>廃炉の向けての質問</p>
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故収束作業の進捗、今後の計画について</li> <li>・労働環境や労働条件について</li> </ul>
25	<p>福島原子力災害における廃止措置を効果的に進めるため、現状の規制制度の下での中長期的な廃止措置は困難。この緊急的特別措置の状況の下、混合廃棄物、有害物廃棄物などの処理処分は、定常事に発生する放射性廃棄物の規制制度で対応できるものではない。最終処分を見据えた課題を示した上で、燃料の直接処分も含めて検討することが必要。また、ウラン燃料については、現状では資源としての回収がメイン、ウランそのものの最終処分に向けた検討が今後必要。具体的な放射性廃棄物の処理処分を念頭に置いた上で、中長期、超長期的な原子力災害廃棄物の安全評価を見据えた上で、廃止措置・処理処分に係る規制制度設計を行う必要がある。解答が見いだせていない原子炉災害廃棄物について、現状把握を行った上で、制度化整備を進め、確実な対応をお願いしたい。新たな原子力安全規制庁での検討に期待したい。</p>
26	<p>福島第一、第二原発とも全て廃炉にして下さい。</p>
27	<p>第一原発廃炉に向けての流れ            第二原発は 話題になるのか？</p>
28	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 廃炉が道理である事。</li> <li>2. 損害賠償の実現について</li> <li>3. 住民復帰について</li> </ol>